

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、
楽にツメル



Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

今週の主な記事

- 2020年3月期第1四半期決算、2つの省令の意見募集①面
- 谷本淳一、バル社長インタビュー②面
- 特集・とつきよの計量No.268
- 計量制度見直し(令和元年6月版)②面
- 寄稿(安藤正一)、島津、受託解析サービスはか⑧面
- 東京電力が福島第一原子力発電所の廃炉を決定⑧面
- 夏季・聖火広告⑩面
- 社説・部外者としての存在を推論した筆の雄飛⑩面
- ⑪面
- ⑫面

計量計測関連企業決算

2020年3月期第1四半期が出揃う

計量計測関連企業の2020年3月期第1四半期決算が出揃った。企業のなかでは半導体・電子部品生産設備向けの需要の減速が影響し、売上げ・利益とも減少傾向の結果となった。

半導体等生産設備向けの需要減速

イー・アンド・デイ

第1四半期連結累計期間における売上高は106億9000万円(前年同期比13.2%増)、営業利益は2億8100万円(前年同期比22.2%増)で、営業損失は2億2000万円(前年同期比69.9%増)となった。親会社株主に帰属する四半期純損失は2億1100万円(前年同期比11.1%増)となった。

計測・計量機器事業II

日本においては、前連結会計年度に連結子会社化したホロンの扱う半導体機器関連を中心に大きく売上を伸ばしたほか、熱中症計や湿度計といった



見やすいバックライト付大型表示 ¥33,000(税抜)

商品が売上を伸ばしている。計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)の受注も伸び悩んだことから売上、利益とも減少した。アジア・オセアニアにおいては、豪州において金属検出器・ウェイトチェッカが前連結会計年度から引き続き好調で現

失300万円)となった。欧州においては、ロシアにおける家庭用血圧計を中心とした売上を伸ばし、経費も抑制できたことから利益も伸ばした。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は64億2500万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は81億4000万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は4億6000万円(前年同期比45.1%増)となった。

3252・3253号を合併号とし、8月25日付で発行します。

2つの省令改正で意見募集中

2019年9月1日(日)必着で送付

経済産業省計量行政室は、8月3日から「計量法関係手数料規則の一部を改正する省令案」と「計量法施行規則の一部を改正する省令案」に対する意見を公募している。

①計量法関係手数料規則の改正(自動捕捉式はかりの型式承認手数料の減額)

②計量法施行規則の改正(公示の方法)

この規定に基づき、計量法関係手数料令(平成5年政令第340号。以下「手数料令」)で型式承認に関する手数料を規定している。

今回のインターネットの普及の実態等を踏まえ、法に関する上記の場合にあっては公示の方法について、研究所又は機構がの公示をウェブサイトで掲載する方法によって行うと定めても可能とするために、当該施行規則の規定を改正する。

詳細は、<https://search.e-gov.go.jp/search/let/public?CLASSNAME=PCMIMS&TDETAIL&id=595>

技術総合研究所等の型式承認を受けようとする者(同条第5項)は、重要な部分において異なる型式等について、実費を勘案して政令で定める額の手数を納付しなくてはならないとしている。

法第159条第1項では、法第159条第1項に基づき公示は、法第125条の規定に基づき実施してきた。また、法第125条の規定する計量士国家試験および法第166条第1項の規定する計量教育について

自動はかりのJIS改正を公示

経産省は8月20日、

定められた様式により、氏名、所属(会社名、役職等)、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス

改正の概要

計量法関係手数料令の法に基づき公示の方

法に基づき公示の方

法に基づき公示の方

118年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMIの製品<支えるのはイノベーション>

- 各種工業用プラント
- 各種農水産物選別プラント
- 液体・粉粒体充填装置
- 配合・調合計量システム 設計・製造
- トラックスケール計量・データ管理システム
- トレーサビリティ管理システム
- 各種穀物用計量機

多様なニーズに110余年の技術開発とノウハウでご提案します。

計量システムの専門メーカー

伝統の技術・先進の技術・信頼の技術

近江度量衡株式会社

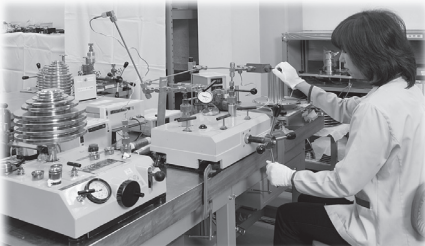
本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70
TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116

【国内拠点】 本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米
【海外拠点】 韓国(仁川)・中国(上海)・タイ(バンコク)

URL: <http://www.omiscale.co.jp>



圧力計測機器の校正は 長野計器グループへ



豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。



高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。



長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。



長野計器 本社/〒143-8544 東京都大田区東馬込 1-30-4 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
<http://www.naganokeiki.co.jp/> お問い合わせはフリーコール/0120-10-8790



ナガノ計装 本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-30-4 (長野計器ビル)
TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 <http://www.nagano-keisoku.co.jp>